

【同窓会報告】

45 回生 今年も長崎に集う

藤田 透・吉見 道子



昨年の城崎温泉(兵庫県)に続いて、今年(2013年5月24日)は1000万ドルの夜景で有名な長崎ホテル「清風」で開催された。長崎市内を一望できる稲佐山の中腹に位置し、どの部屋からも夜景・日の出の絶景を見ることができた。45回生は同級生が10名も病死していることから、数年前から毎年開催地を変えて開催している。長崎在住の一瀬、入江、小川、山崎、若松の5君にお世話になって開催が実現した。事前の案内に加え、一瀬さんが「レ専校 45 回生 ML」を開設してくれたので、多くの同級生が懐かしい写真や近況などを活発に報告しあっている(現在も継続中)。そして当日は集合時間のかなり前から集まり始め、17名の参加となった。毎年参加の仲間、卒業以来初めて顔を合わす仲間等、しかし一瞬にして学生時代に帰ることができる、これが同窓会の良さなのでしょう。

長崎名物「卓袱袱ぼく料理」を準備していただいた。「お膳ひれをどうぞ」の掛け声で食事が始まり、次々に出てくるメニューに舌鼓、写真を撮り、酒を酌み交わし、楽しい時間が続く。宴の途中で来年の開催地について提案があり、鶴原さんが山口県でお世話頂けることに決定。また再来年については、坂本君のお世話で浜松市での開催も決定。そして二次会場となる部屋に移って学生時代の話、定年後の仕事、年金の話……と、時間の過ぎるのを忘れるほどでした。

翌日は、母校の学友会総会(福岡)に参加する人、長崎観光に出かける人、早々と帰路につく人に分かれ、来年の再会を約束して別れました。今回、長崎在住の5君が揃ってお世話頂いたことは嬉しいことでした。

《10年程前から毎年開かれる 45回生の同窓会に参加して》

長崎の夜景がきれいに見えるホテル清風で、今年も集い楽しいひと時を過ごしました。

毎年参加の常連組と初参加でなかなか思いだせない人もいましたが、すぐにいつもの通りの賑やかな宴となり、昔話に花が咲きました。卓袱料理は次々に運ばれてくるので食べきれないほどのご馳走でした。

次の日は幹事の入江さんが、ハウステンボス・嬉野温泉・島原雲仙普賢岳等、長崎を広く案内して下さり、とても充実した旅となりました。

まだ参加したことのない同級生！ 来年もありますよ～！

以上